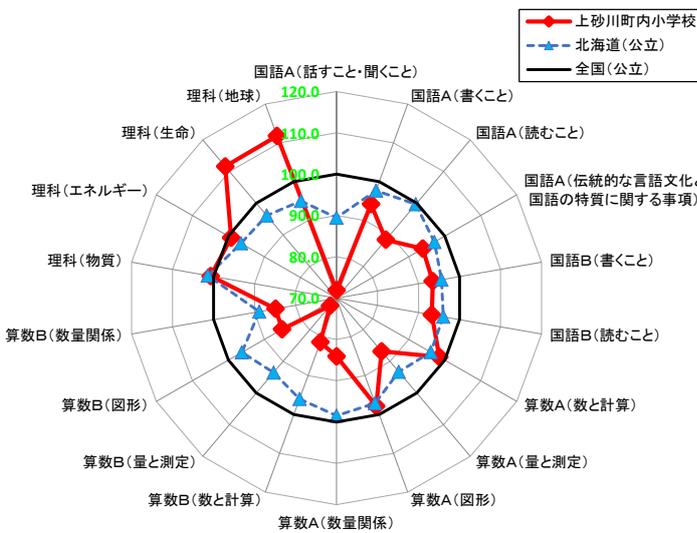


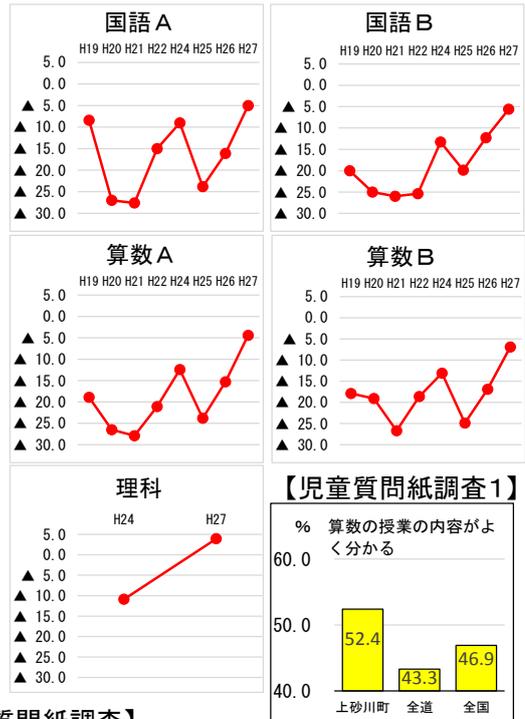
■上砂川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:21名)

【教科全体の状況】

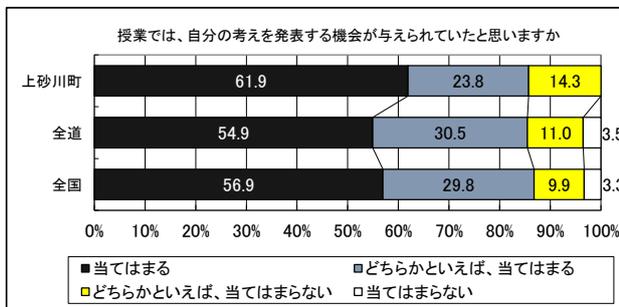
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



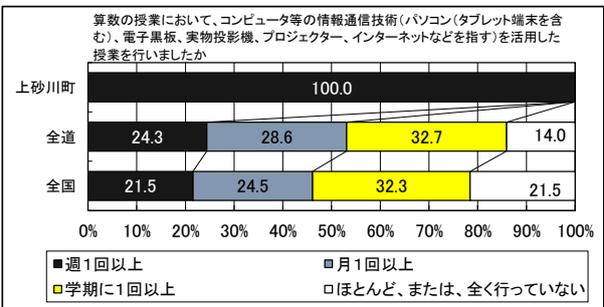
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査2】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは「書くこと」で他の領域に比べて、全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは「数と計算」で全国とほぼ同様になっている。 ○ 理科では「物質」、「生命」、「地球」で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の授業において、コンピュータ等の情報通信技術(パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す)を活用した授業をよく行った結果、児童が算数の授業の内容がよく分かるようになり、算数Aの「数と計算」、「図形」において、全国とほぼ同様になったり、全道を上回ったりしたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率の推移については、学校が組織的に授業で児童が自分の考えを発表する機会を与えた結果、児童が授業の内容を分かるようになり、全教科で全国との差が縮まってきたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の授業において、コンピュータ等の情報通信技術(パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す)を活用した授業をよく行っている。 	

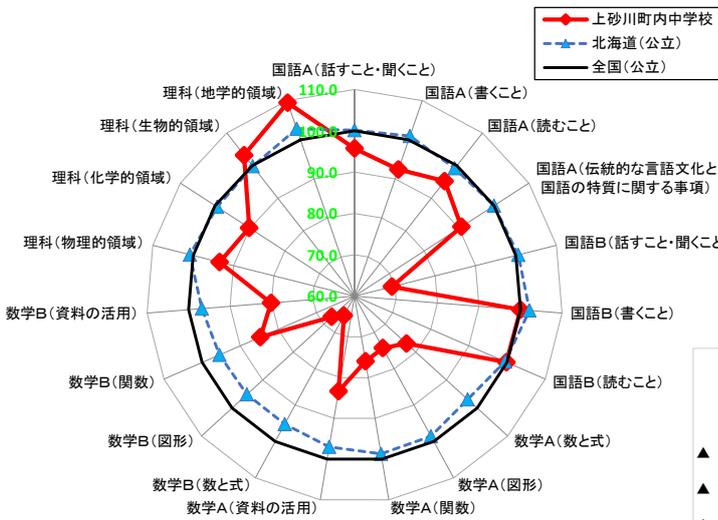
【上砂川町の学力向上策】

- ◎ 小学校において、北大学力増進会の協力を得て1泊2日の合宿ゼミを実施
- ◎ 親学セミナーの開催
- ◎ 放課後子ども教室における学習指導の実施
- ◎ 算数の基礎学力を身に付けさせるため、「小学生弱点克服ゼミ」の実施

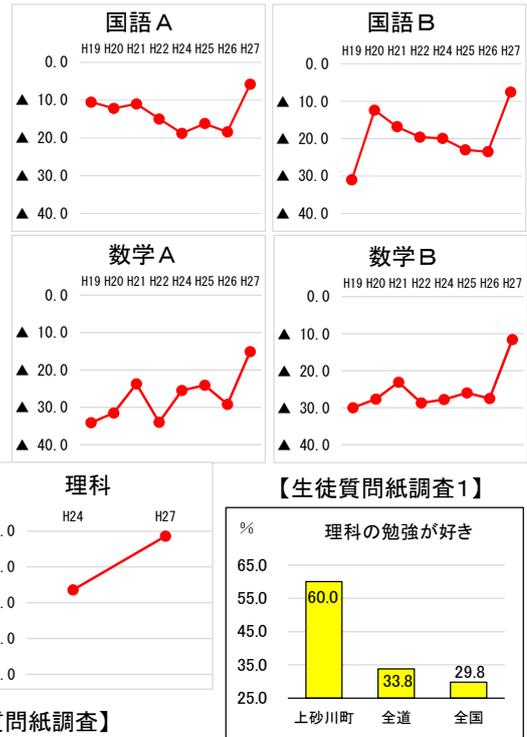
■上砂川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:20名)

【教科全体の状況】

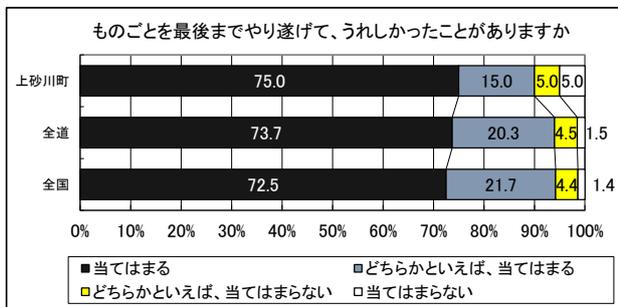
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



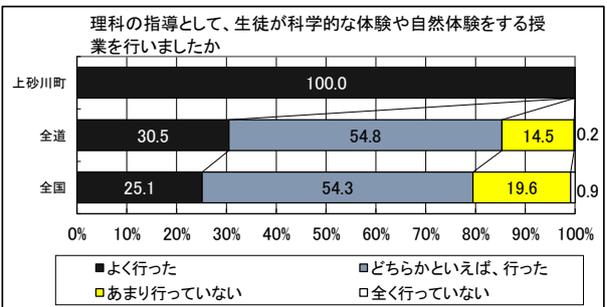
【平均正答率の全国との差の推移】



【生徒質問紙調査2】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは「書くこと」で全国とほぼ同様になっている。 ○ 数学Bでは「関数」で他の領域に比べて、全国に最も近くなっている。 ○ 理科では「生物的領域」、「地学的領域」で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が科学的な体験や自然体験をする授業をよく行った結果、生徒が理科の勉強を好きになり、理科の「生物的領域」、「地学的領域」において全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 平均正答率の推移については、学校で組織的に授業で体験的な学習を取り入れた結果、生徒がものごとを最後までやり遂げるようになり、全教科で全国との差が縮まってきたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の指導として、生徒が科学的な体験や自然体験をする授業をよく行っている。 	

【上砂川町の学力向上策】

- ◎ 中1～3を対象として町費で漢字検定、国語検定、英語検定を実施
- ◎ 中学校全学級に実物投影机を整備